

# 管理所レビュー VOL.02

(R1.5.7 水源林管理所)

今年度の第2回となるボランティア活動が、4月19日(金)に予定どおり実施されました。

前回同様に、今回も絶好の天候に恵まれ、サクラやミツバツツジの花が満開に咲く春らしい陽気の中、安全に間伐作業を実施することが出来ました。皆様、大変お疲れ様でした。

これからは、徐々に暖かくなり体も動きやすくなるため、作業の進捗ペースが早くなりがちです。心に余裕を持ち、一つ一つの作業の安全をしっかりと確認するようお願いいたします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

## 1 71名のご参加、ありがとうございます。



絶好のコンディション。



いってらっしゃ〜い!

## 2 「道作り」を実施しました。

今回の「道作り」は、5班内を上がるルートと6班・7班へと下るルート(下記作業地図面に明記しました。)の新設を行ないました。唐グワを使った慣れない作業で大変だったと思いますが、歩きやすい道が出来ました

参加いただいた皆さん、お疲れ様でした。



「道作り」に参加の皆さん。



唐グワでの作業。



歩きやすい道が出来ました。



### 3 幹の切断方法について。

林内で立木を伐倒すると、幹が曲がった状態で横たわる場合が多く、その場合は圧縮や引張りの応力のかかった状態となります。応力のかかっている幹の切断（玉切り）は、危険な場合やノコギリが挟まれたりすることがありますので、十分注意してください。

#### ◆基本となる切断方法

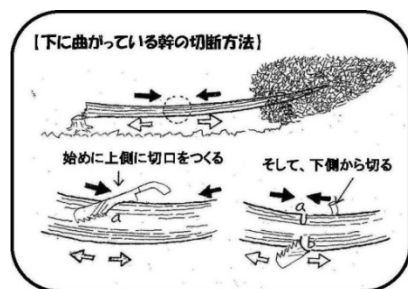
##### (1) 下に曲がっている幹の切断方法【イラストA】

まず、上側の圧縮されている方に切口を作り、続いて下側から切り進めると幹が徐々に下がりながら切り口が開いていくので、ノコギリを挟まれることなく安全に切断できます。（切り終え時、幹の落下による足の挟まれに注意！）

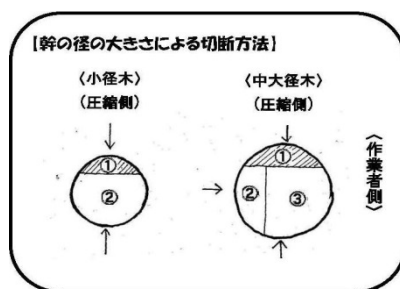
##### (2) 幹の大きさによる切断方法【イラストB】

中大径木では上側①を切り、次に②の部分の切っておくことにより、③を切り進めていくと②の部分の下側が徐々に開き、幹が作業員から離れるように切れていくため、安全です。

(3) 上に曲がっている幹の切断方法は、【イラストA】と逆の切断順序です。



【イラストA】



【イラストB】



正しい状況判断と基本作業を。

#### 【ここで注意！】

極度に曲がっている幹を切断する場合は、幹が裂ける場合があるので、注意が必要です。特に上に曲がっている幹の切断は、上から切り進めていく途中で幹が裂け、自分の顔や体に向かってくる場合があります、大変危険です。「裂ける」心配がある場合は、ロープで「裂け止め」の処置を行ってから切りはじめてください。

- ★ 応力のかかっている幹の処理は、幹の状態を良く観察し、正しい手順で処理する事が重要です。また、ノコギリが挟まれて動かなくなる前に、補助ロープなどをセッティングして挟まれた時に対処できるようにしておいてください。

### 4 ご参加、ありがとうございます。

今回の活動に、株式会社サンコウ様、メタウォーターサービス株式会社様、興信工業株式会社様が参加されました。ご参加、ありがとうございました。



株式会社サンコウ様。  
(掲載許可済み)



メタウォーターサービス株式会社様。  
(掲載許可済み)



興信工業株式会社様。  
(掲載許可済み)

※ 5月8日（水）は、晴れ、最高気温18度、降水確率0%の予報となっています。

★それでは5月8日、気をつけてお越しください。